

環境経営レポート

2022年度版

活動期間 2022年10月～2023年9月



有限会社 渋谷塗装店



エコアクション21
認証・登録番号 0001940



目次

I. 組織の概要	P 1
II. 対象範囲(組織図を含む)	P 2
III. 環境経営方針	P 3
IV. 環境経営目標	P 4
V. 環境経営計画	P 5
VI. 環境経営目標の実績	P 6
VII. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	P 7 P 8 P 9
VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟有無	P10
IX. 代表者による全体評価と見直し指示	P10
X. 環境活動の紹介	P11
XI. SDGsの取組み	P12

I. 組織の概要

(1) 事業所名

有限会社 渋谷塗装店
代表取締役社長 渋谷 崇

(2) 所在地 〒736-0034 広島県安芸郡海田町月見町2-9

有限会社渋谷塗装店 本社事務所
〒736-0034 所在地: 広島県安芸郡海田町月見町2-9 TEL:822-2722 FAX:822-1419
ED工場: // 3-7
第2工場: (塗装) // 2-7 TEL:822-2393 FAX:822-2410
第3工場: // 3-7
第4工場: (塗装) // 2-16 TEL:823-5226 FAX:823-5226
第5工場: (組立) // 2-19
荷役場: (受入出荷) // 3-29 TEL:822-6637 FAX:823-9658

(3) 環境管理代表者及び管理責任者連絡先

環境管理代表者 取締役社長 渋谷 崇
環境管理責任者 渋谷 崇

TEL: (082) 822-2722 (代表)
FAX: (082) 822-1419
E-Mail: shibuya.to@go4.enjoy.ne.jp

(4) 事業の概要

金属表面処理及び焼付塗装、カチオン電着塗装、樹脂塗装、
関連部品組立、梱包、製品納入代行

(5) 事業の規模

活動規模	単位	2020年 2020年10月～2021年9月	2021年 2021年10月～2022年9月	2022年 2022年10月～2023年9月
売上高	百万円	537	527	729
従業員	人	71	71	77
床面積	m ²	10,001	10,001	10,001

II. 対象範囲(組織図を含む)

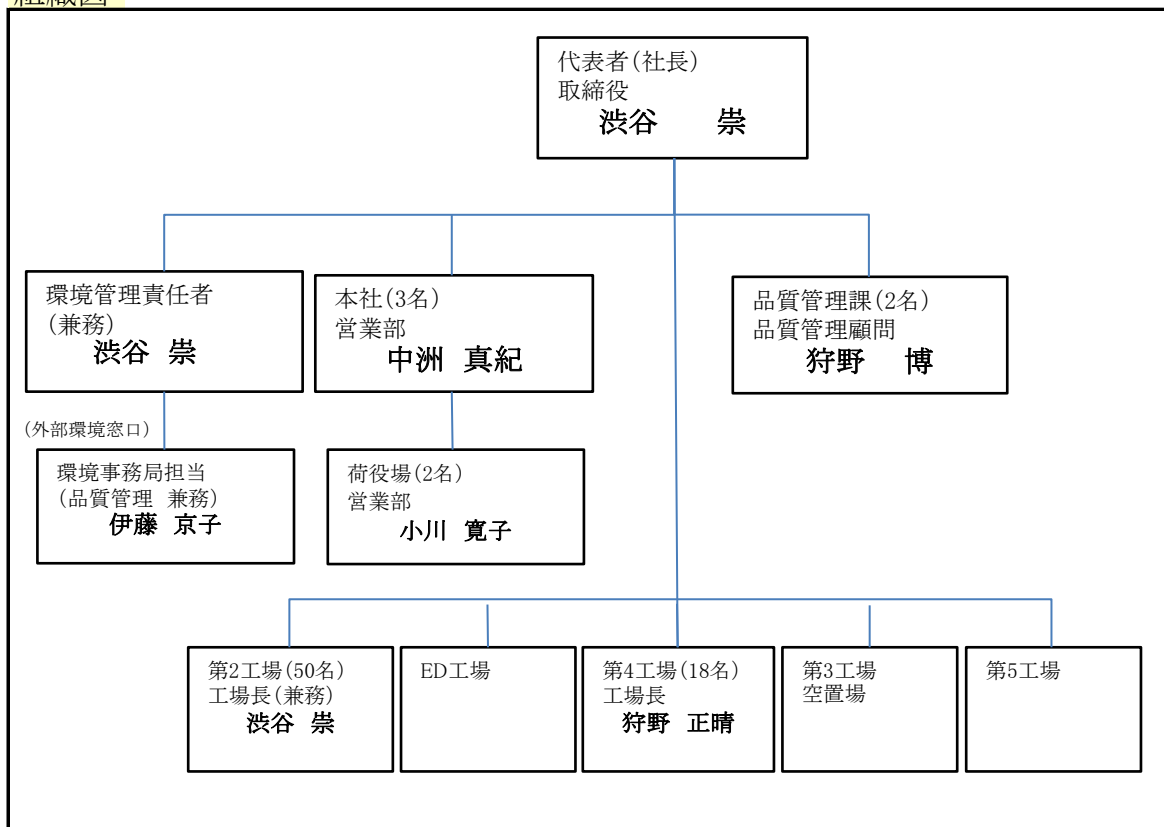
(1) 認証、登録範囲

上記、1.組織概要(2)所在地が記載されている有限会社渋谷塗装店の拠点
全活動。

(2) 認証登録日 2007年10月19日 更新登録日 2023年10月19日 有効期限 2025年10月18日

(3) 組織図及び役割・責任・権限表(2023.12.15現在)

組織図



	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、資源、費用、専門技術・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び前従業員へ周知 ・環境経営目標及び環境経営活動計画記載の環境経営活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直し実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・環境関連法規制等一覧表の作成 ・環境経営目標の設定 ・環境経営活動計画書(中期)及び環境経営活動計画書(単年度)の作成 ・緊急事態の特定及び緊急事態対応訓練計画・実施 ・教育訓練計画書の作成及び従業員に対する教育訓練の実施 ・環境経営活動の取組状況の確認・評価及び結果を代表者へ報告 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
環境事務局	・環境管理責任者補佐 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営システムに関する資料の管理 ・環境経営活動実施結果の実績集計
担当業務責任者	・担当業務範囲における環境経営システムの実施 ・担当業務範囲への環境方針の周知 ・担当業務範囲における環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況の確認・評価 環境管理責任者への報告 ・担当業務範囲における運用手順書の作成及び手順に基づく運用管理 ・担当業務範囲に関連する緊急事態対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
全従業員	・担当業務の問題点の発見、是正、予防処置 ・環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 環境経営方針

有限会社 渋谷塗装店は、事業活動(カチオン電着塗装、焼付塗装)を行なうことにより、環境への影響が重大であることを認識し、地球環境の保全及び経営理念として、社会に貢献できる企業を目指し継続的改善に取り組んでまいります。

- 1) 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
- 2) 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電気、灯油、ガソリン、軽油、LPG)
- 3) 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再利用を推進します。
- 4) 水道使用量の削減&排水処理汚染を防止します。
- 5) 化学物質使用料の削減及び塗装方法の改善活動に努めます。
- 6) 地域での清掃活動等、環境活動に積極的に参加します。
- 7) 本方針を全従業員に周知徹底するとともに社外にも公開します。

制定日 2007年10月10日
改定日 2023年10月 5日

有限会社 渋谷塗装店

代表取締役

渋谷 崇

IV. 環境経営目標

負荷の自己 チェックコア指数	環境経営 目標	単位	排出実績 (2022年度) 基準年度	中期目標		
				2023年度 基準比 2%減	2024年度 基準比 3%減	2025年度 4%減
二酸化炭素 排出量	電力	kg-CO ₂	776,677	761,143	753,377	745,610
	灯油	kg-CO ₂	908,601	890,429	881,343	872,257
	ガソリン	kg-CO ₂	6,714	6,580	6,513	6,445
	軽油	kg-CO ₂	19,908	19,510	19,311	19,112
	LPG	kg-CO ₂	94,127	92,244	91,303	90,362
	CO ₂ 合計	kg-CO ₂	1,806,027	1,769,906	1,751,847	1,733,786
廃棄物の排出 量	産業廃棄物の 削減	t	54	53	52	52
	一般廃棄物の 削減	t	5	5	5	5
総排水量	総排水量の削減	m ³	19,363	18,976	18,782	18,588
化学物質 使用量	化学物質 使用量の削減	kg	11,402	11,174	11,060	10,946
塗装方法の 改善	不良率の低減	%	マル秘	達成	体制維持	体制維持
社会貢献活動	会社周辺の清掃	2回/月	2回/月	実施	実施	実施
	清掃活動に参加	2回/年	参加	参加	参加	参加

- ・ 電力の二酸化炭素排出量は、0.677kg-CO₂/kWh(環境省、公表の中国電力㈱の2017年度実績調整後、排出係数)とした。
- ・ 不良率の低減数値は、マル秘の為、公表していません。
- ・ 環境配慮商品の購入データはなく(担当者を取り決めエコマーク商品を購入するようにしています。(事務所に表示)

V. 環境経営活動計画

負荷の自己 チェックコア指数	環境経営 目標	環境経営活動計画	
		短期計画 (2023年度)	中期目標 (2024年度)
二酸化炭素 排出量	電力の削減	・問題機種種の検討・改善 ・エアコンの省エネ運転実施 ・部分消灯の徹底 ・不良率の低減	・問題機種種の検討、改善 ・体制維持 (活動計画の定着化) ・不良率&色替えの低減
	灯油、ガソリン、 LPG、軽油の削減	・リフト作業の見直し改善 ・アイドリングストップの実行 ・乾燥炉のON、OFFの管理の徹底	・方法調査&実施 ・体制維持 (活動計画の定着化) ・運送の合理化(調査、検討)
廃棄物の 排出量	産業廃棄物の 削減	・廃棄物発生最小化の検討、推進 ・廃棄物を持ち込まない作らない ・汚泥の脱水後、廃棄の実施 ・リサイクル品の活用	・検討・推進 ・体制へ確立、維持 ・汚泥の脱水方法の維持
	一般廃棄物の 削減	・裏紙&段ボールの再利用 ・ゴミの分別収集の体制確立 ・不良パレットの返却	・体制の確立・維持 ・荷受時不良パレットの確認 ・段ボール再利用
総排水量	総排水量の削減	・設備、検討・改善 ・節水 ・水漏れ個所の定期的確認	・設備、検討、 ・体制の確立、維持 ・節水
化学物質 使用量	化学物質使用量 の削減	・段取替えの減少 ・塗装方法の改善&指導	・体制の確立・維持
塗装方法の 改善	不良率の低減	・問題機種種の検討・改善 ・作業者の指導、教育 ・4Sの実施 ・塗装吊具のメンテと見直し	・問題機種種の検討、改善 ・体制の確立、維持 ・作業者の指導、教育
社会貢献活動	社会貢献活動の 推進する。	・会社周辺の清掃 2回/月 ・会社地域の清掃活動に参加 ・海田花を咲かせ隊に協力 ・SDGsの勉強会に参加	・体制の確立 (情報の把握) ・情報活動&協力の徹底 ・SDGsの勉強会に参加

VI. 環境経営目標の実績

負荷の自己 チェックコア指数	環境経営 目標	単位	排出実績 (2018年度) 基準年度	単年度目標	単年度実績	差	評価
				2022年度 基準比 4%減	2022年度		
二酸化炭素 排出量	電力	kg-CO ₂	924,949	887,951	776,677	111,274	○
	灯油	kg-CO ₂	902,376	866,281	908,601	-42,320	×
	ガソリン	kg-CO ₂	10,895	10,459	6,714	3,745	○
	軽油	kg-CO ₂	49,035	47,074	19,908	27,166	○
	LPG	kg-CO ₂	15,969	15,330	94,127	-78,797	×
	CO ₂ 合計	kg-CO ₂	1,903,224	1,827,095	1,806,027	21,068	○
廃棄物の 排出量	産業廃棄物の 削減	t	73	70	54	16	○
	一般廃棄物の 削減	t	5	5	5	0	○
総排水量	総排水量の削減	m ³	20,495	19,675	19,363	312	○
化学物質 使用量	化学物質 使用量の削減	kg	17,005	16,325	11,402	4,923	○
塗装方法の 改善	不良率の低減	%	マル秘	体制維持	達成	達成	○
環境配慮 商品の購入	環境配慮商品 購入推進		データ無	12品目以上	13品目	達成	○
社会貢献活動	会社周辺の清掃	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	実施	○
	清掃活動に参加	1回/月	参加	2回/年	2回/年	参加	○

(注意)

- ・評価記号 ○…目標達成 △…ほぼ削減なし ×…目標未達成 -…未設定、未評価
- ・電力の二酸化炭素排出量は、0.677kg-CO₂/kWh(環境省、公表の中国電力㈱の2017年度実績調整後、排出係数)とした。

VII. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

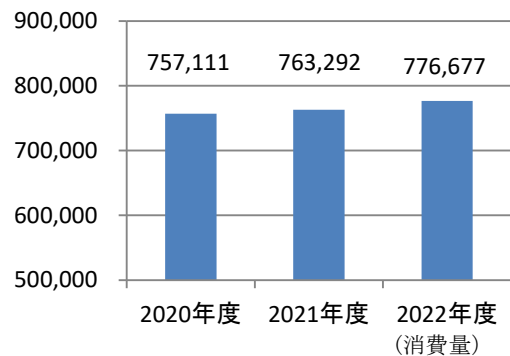
1)、環境経営活動達成状況の評価

◇電力の削減

<評価>

社内全体が節電を意識するようになり
無駄と思われる電力使用なくなった。
今後も社内全体の節電をする意識をさらに
高めたいと思います。

電力排出量(kg-CO₂/年)

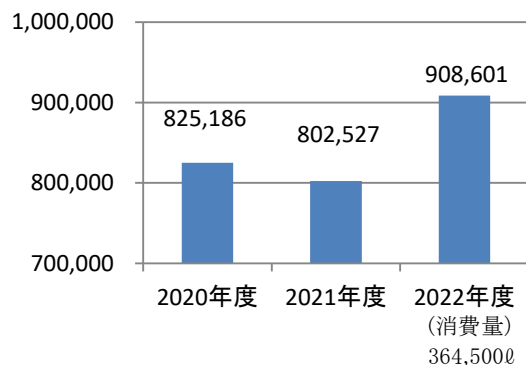


◇灯油の削減

<評価>

各工場の乾燥炉使用の削減が管理され
(作業始め、終り)ON、OFFに対し無駄な
使用なくなった。
今後も継続して下さい。
巡回時、無駄な使用もなくなっている。

1,147,234kwh
灯油の排出量(kg-CO₂/年)

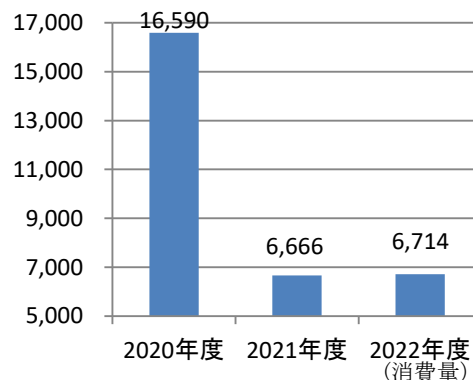


◇ガソリン

<評価>

社用車リフト車に於いて無駄な走行はして
おらずアイドリングストップは実施されて
今後購入時に於いて省エネ車に検討中。

ガソリンの排出量(kg-CO₂/年)

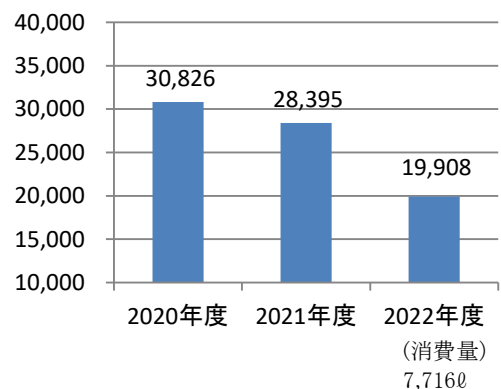


◇軽油

<評価>

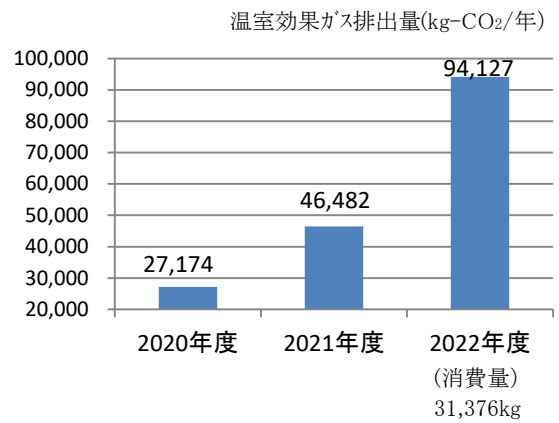
リフト作業による空運転が見当らず往復の
運搬を考え作業している。
今後も皆で話し合い改善して行って下さい。

2,8940
軽油の排出量(kg-CO₂/年)



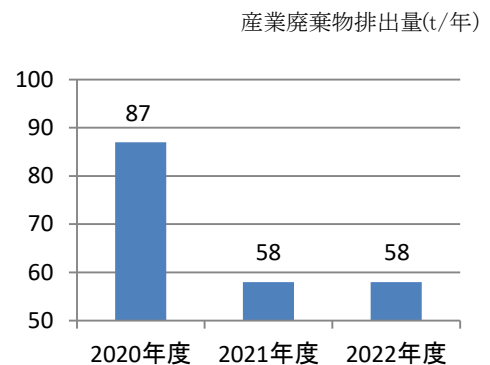
◇液化石油ガス(LPG)の削減

＜評価＞
生産量の増加で液化石油ガス(LPG)リフト車を増やした事で排出量の増加に繋がっている。無駄な走行をなくし改善して欲しい。



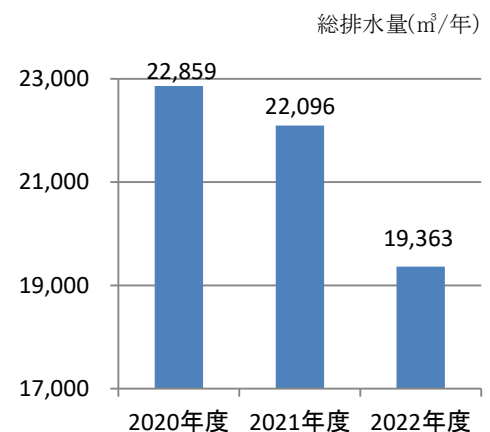
◇産業廃棄物の削減

＜評価＞
従業員も廃棄物を持込まない、作らない様努力している。又、コピー用紙&ダンボールも再使用されている。今後も維持して下さい。



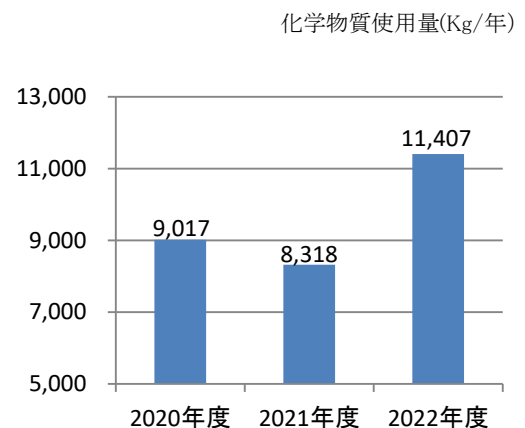
◇総排水量の削減

＜評価＞
トイレ等も人工センサーに徐々に変更し事務所の節水も身についてきた。
今後も改善していきたい。



◇化学物質使用の削減

＜評価＞
4工場にて不良率の低減&塗装の段取り替えの減少(ロット数の増加)により塗料使用量の削減に取り組んでいる。
今後も継続して下さい。



2)、環境経営活動計画の実施状況まとめ(次年度の取組計画)

環境目標項目	環境経営活動計画	取組結果 2022年10月～2023年9月	評価	次年度の取組計画 2023年10月以降 環境経営目標(P4参照) 環境経営計画(P5参照)
電力の削減	- 問題機種への検討・改善 - エアコンの省エネ運転実施 - 昼時間の照明OFF - 不良率の低減	- 塗装機の変更等に関し検討中 - エアコンの省エネ運転は冬夏とも95%実施 - 昼時間の照明OFFも担当者を決め守られている - 各工場に於いてPDCAを機能させ不良率の低減に取り組んでいる	○	- 問題機種への検討、改善 - エアコンの省エネ運転実施 - 不要場所の消灯の徹底 - 段取り替えの減少
灯油、ガソリン、LPG、軽油の削減	- リフト作業の見直し改善 - アイドリングストップの実施 - 乾燥炉のON、OFFの管理の徹底	- リフト作業に於いて往復の荷物を考え空作業が無い様、努力しているがアイドリングストップは作業によってバラツキがある(指導要す) - 乾燥炉の管理もチェックシートに記載され無駄の無い判断が出来ている	×	- リフト作業の見直し改善 - アイドリングストップの実行 - 乾燥炉のON、OFFの管理の徹底 - 塗装方法の見直し
産業廃棄物の削減	- 廃棄物発生最小化の検討推進(作らない、持込まない) - 汚泥の脱水後、廃棄の実施	- 不良パレットに対し持込まない(客先)作らない様、指示されている - 汚泥の増加には工場メンテの回収に比例するもので脱水方法の指導は出来ている	○	- 廃棄物を持込まない作らない - 汚泥の脱水方法の指導 - リサイクル品の活用
一般廃棄物の削減	ゴミの分別収集の体制確立	コピー用紙&ダンボール等再使用出来る物は再利用され分別収集も確立されている	○	- コピー用紙&段ボールの再利用 - 入庫時に於いてパレットの確認 - 不良パレットの返却
総排水量の削減	- 設備、検討、改善 - 節水 - 水漏れ個所の定期的確認	- 水の再生使用も実施され、日々の節水への意識を高めて行きたいと思います - 定期的確認も実施され今後も続けたい	○	- 設備、検討、改善 - 節水 - 水漏れ個所の定期的確認
化学物質使用量の削減	- 化学物質管理方法の確立 - 段取り替えの減少	PRTR化学物質の使用量の削減は不良率低減&段取り替えの減少によるものである	○	- 化学物質管理方法の確立 - 段取り替えの減少
不良率の低減	- 問題機種への検討、改善 - 作業者の指導、教育 4Sの実施	- 塗装設備に対し作業員で出来る事は実施中、機種は検討中である 4Sは日常作業に於いて習慣づけられている尚、低減の為の限度の見直しは4月より実施	○	- 塗装方法の改善 - 作業員の教育指導 - 外観限度の見直し - 吊具の良否の確認
環境配慮商品の購入推進	エコマーク商品の購入推進	エコマーク、グリーンマーク商品の優先購入を徹底し事務用品を大切に使い購入を控える様にしたいと思います	○	エコマーク、グリーンマーク商品の購入推進
社会貢献活動の推進する。	- 会社周辺の清掃 2回/月 - 本社地域の清掃活動に参加(今年度、海田花を咲かせ隊に参加)	- 会社周辺の清掃も定期的に巡回し月/2回以上実施 - 地域の清掃活動も協力し今年度海田花を咲かせ隊に参加しました	○	- 会社周辺の清掃 2回/月 - 地域の清掃活動&海田花を咲かせ隊に協力

○目標達成
△ほぼ削減なし
×目標未達成

VIII. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果

関連法規等	対応すべきこと	担当	遵守評価状況
廃棄物処理法	・廃棄処理委託契約書 ・マニフェスト対応 ・届出毎月6月30日迄 ・水銀使用製品保管場所表示	小川	確認OK。 〃 提出済 確認OK
大気汚染防止法	・県知事等への届出 ・測定結果の記録	小川	揮発性有機化合物濃度 提出済
水質汚濁防止法	・県知事等への届出 ・測定結果の記録	小川	記録保管確認
化学物質排出把握管理	・対象物質の排出量 ・移動量届出 ・届出(毎年4月1日～6月30日)	小川	PRTR提出済
労働安全衛生法	・法第57条の三の1.2追加	小川	確認OK

(2) 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に於ける環境関連法規への違反・訴訟は過去20年以上有りません。

IX. 代表者による全体評価と見直し指示

項目	取組み状況の評価	変更の 必要性有無	今後への指示
環境経営方針	・エコアクション21に取組み15年が過ぎ、新入社員の教育もされ徐々に身についてきたようである。	有	・会社としても協力出来る範囲はさせて頂きますので継続して下さい。 ※SDGsについて参考本を参照し取組んで行けるところは前に進んでみましょう。
環境経営目標 環境経営活動計画	・稼働時間の減少も有るがエネルギーの減少&地域活動への貢献活動は評価すべきものである。 ・作業者の出入の多い中、活動に基づき指導されている。 ・コロナの影響も有目標の達成はされているが今後も努力をして下さい。	有	・不良率の減少によりエネルギー消費他、間接的にかかるので分析し改善していく事。 ・地域社会の貢献活動も継続して下さい ・日々の4Sも継続して下さい。 ・今後基準年度の目標値の見直し及び原位の数値で管理してはどうか検討して下さい。
環境経営システム	PDCAを回す管理が全員参加でできるようになった。 従業員の意識が変化しつつある。	無	・PDCAを回す事をわずれずに日常管理して下さい。 ・チェック(C)アクション(A)を怠らず再評価して継続の事。
実施体制	-	有	環境管理責任者の変更

X. 環境活動の紹介

2023年10月5日（木）

（有）渋谷塗装店 草刈業務

（ED工場横）

（駐車場）

除草工



作業前



作業後



除草剤作業



XI. SDGsの取組み

SDGsとは？

地球上には地球や環境問題、戦争、貧困問題などありとあらゆる問題がありますね。その問題が解決され、地球上の「誰一人取り残さない」で皆が安心して地球で暮らし続けていけることが理想です。

そのために、国連のサミットで、地球上で起こっている問題を整理して解決への道筋を作った計画「持続可能な開発のための2030アジェンダ」（※アジェンダ＝計画）が定められました。

この中に記載されたものが「**Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）**」略して**SDGs**です。SDGsの中に2030年までに達成を目指す17の目標が定められているのです。



17の目標は5つの要素に分類できる

17の目標は「**5つのP**」として分類することができます。たくさんある目標も、少し整理され理解しやすくなりますね。ご覧の通り、5つの大きな枠組みはどれも重要なテーマとなっています。

People (ピープル) 人間					
あらゆる形態の貧困と飢餓を無くし、尊厳と平等を確保する					
Prosperity (プロスぺリティ) 豊かさ					
自然と調和した、豊かで充実した生活を確保する					
Planet (プラネット) 地球					
将来の世代のために、地球の天然資源と気候を守る					

Peace (ピース) 平和	
平和で公正、かつ誰も孤立させずに支え合える社会を育てる	
Partnership (パートナーシップ) パートナーシップ	
確かなグローバル・パートナーシップを通じ、目標の実現を目指す	